



育英初戦敗退

▶1回戦

前橋育英	0	0	0	1	0	0	0	0	0		1
九州国際大付 <small>(福岡)</small>	2	2	0	0	3	0	0	0	X		7

第83回



好機にあと一本出ず



前橋育英—九州国際大付 4回表前橋育英、神沢の適時打で渡辺がかえり3点差＝甲子園

東日本大震災で開催が危ぶまれた第83回選抜高校野球大会が23日、兵庫県西宮市の甲子園球場で開幕した。本県から春夏を通じて甲子園初出場の前橋育英高は、開幕試合に続く第2試合で九州国際大付高(福岡)と対戦。相手の強力打線を抑えることができず1-7で敗れた。

初回到2点本塁打で先制を許した前橋育英は、序盤から追い掛ける展開。0-4で迎えた四回に神沢誠人(3年)の適時打で1点をもぎとったが、6点差の七回の好機にあと一本が出ず、追加点を奪えなかった。

守っては内外野手がキビキビとしたプレーで投手をもり立てた。だが、先発の左腕・高橋拓巳(2年)、継投したエース池田悠紀(3年)が計4本塁打を浴び、徐々に差を広げられた。

午前9時から行われた開会式では、冒頭に震災の犠牲者に黙とうがささげられた。